

医療職の働き方改革推進フォローアップ
ワークショップ実践報告

2021年度の取り組みについて



**医療法人盟陽会
富谷中央病院**

【富谷中央病院の概要】

2022年1月現在

- 許可病床数：164床
急性期病床：54床
療養病床：110床
- 診療科：内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、
糖尿病内科、人工透析内科、皮膚科、眼科、
歯科
- 看護職員：79名
看護補助者：34名



富谷中央病院の ミッションとビジョン

ミッション

地域に密着した患者様の立場に立った
医療の提供

ビジョン

職員が長く働き続けられる職場環境にする

【3年後のゴール】

1. 全看護職員が病院のミッション・ビジョンを理解し、働きやすい職場になる。
 - ◇離職率を10%以下にする。
2. 看護職員一人ひとりが就業規則に関心を持ち、制度の理解や自分の休暇を管理することができる。
 - ◇年次有給休暇10日以上取得
 - ◇自分に必要な制度を理解する。
3. WLB推進活動が病院全体に認知され他部門にも広がる。

【インテックス調査の結果】～3年間の比較～

「そう思う」「ややそう思う」の割合

《経営・組織について》	2019年	2020年	2021年
職員を大切にしている組織である	30.3%	51.4%	48.1%
今の勤務先は目先の利益にとらわれず、 長期的な視点にたった経営をしている	13.6%	31.1%	27.3%
今の勤務先の将来に不安はない	13.6%	31.1%	33.8%
今の勤務先にできるだけ長く勤めたい	40.9%	58.2%	50.7%
あなたの職業において、専門性を発揮できる 十分な時間をとることが出来る	19.7%	32.5%	27.3%

【インテックス調査の結果】～3年間の比較～

「そう思う」「ややそう思う」の割合

《労働環境について》	2019年	2020年	2021年
必要に応じ今の雇用形態のまま、 短時間勤務に変更できる	16.6%	47.3%	36.4%
有給休暇は必要に応じて取得できる	41.0%	74.3%	61.1%
定時で終わることができる	37.9%	37.9%	40.3%
勤務表作成時に個人の希望が通り やすい	92.5%	94.6%	85.8%

【インデックス調査から見えてきたこと】

1. 全体的に1年目より結果が好転している。
2. 勤務表は勤務希望を可能な限り取り入れ作成しているが諸事情により急な勤務変更が多くなり結果的に休み希望が通らなくなった部署があった。有給休暇が取得しにくい部署があった。
3. コロナ禍のため委員会等の活動の場が制限された。その結果、方針等が伝わりにくいと感じている職員がいた。

アクションプラン1:WLB推進活動を全職員に周知

1) 定期的な情報発信を行う。

◆3月発行：ワークショップの報告

◆10月発行：インデックス調査の結果報告

今年度の活動内容

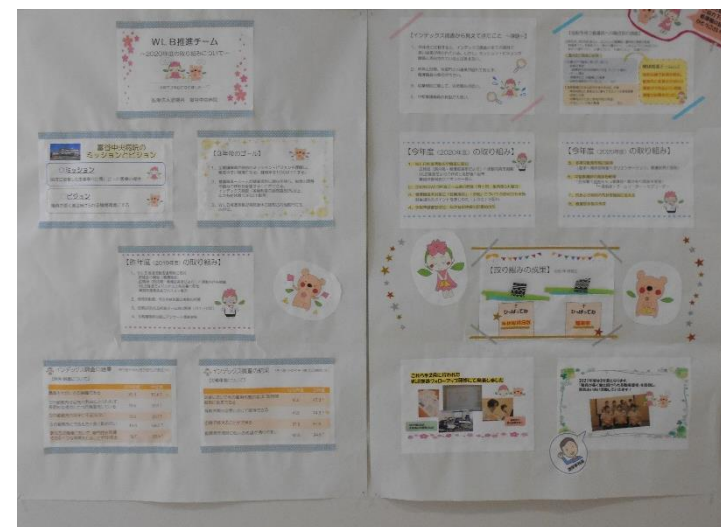
◆11月発行：看護部手帳掲載内容についての

アンケート調査結果報告



2) 院内業務改善報告会での発表を行う。

◆3/28~4/8まで掲示



アクションプラン2:

年次有給休暇の計画付与を継続する。

- 1) 10日以上取得に向け、夏季休暇・冬期休暇以外の期間を取得強化月間とする。

アクションプラン3:産休・育休取得者への オリエンテーションを十分に行う。

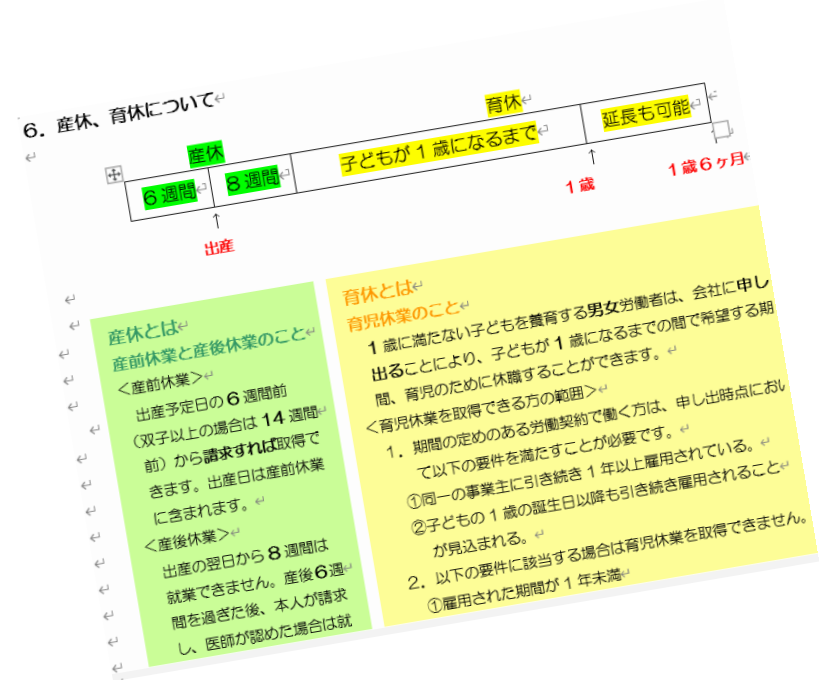
- 1) 申請書提出時及び産休取得前に看護部長と面談を行う。
- 2) 育休から復帰前に多様な勤務形態について説明する。

アクションプラン4: 看護部手帳の作成

1) 職員が活用したい項目の調査

2) 掲載項目の決定

3) 3月完成予定



アクションプラン5: 病院ホームページの見直し

1) 令和4年3月中に見直し終了

【今後の課題】



1. WLB制度についての周知の継続
病院全体で取り組めるよう情報発信
2. 年休取得率の向上
3. 離職率10%以下
4. 看護部手帳の印刷と定期的な更新

取り組みの成果です！ 2022年1月現在

《年休取得日数》

2019年：6.22日
2020年：7.51日
2021年：7.43日

《離職率》

2019年：12.6%
2020年：5.1%
2021年：10.0%

